

都市再生整備計画 事後評価シート
丸亀市中心市街地地区

平成30年10月

香川県丸亀市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	丸亀市		地区名	丸亀市中心市街地地区			面積	390ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	942.0百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		・道路(街路):中津土器線 ・道路:東汐入川周辺市道 ・地域生活基盤施設:緑地 ・高質空間形成施設:市道富屋町線他3線								
			提案事業		・まち歩きボランティアガイドの育成								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		高次都市施設		観光物産施設の事業実施を計画していたが、事業実施にいたらないため		事業削除に伴い、「観光物産施設の年間利用者数」の指標を削除				
			提案事業		まち歩き魅力向上		整備した高質化舗装により、まち歩きの魅力向上の効果が期待できたため		なし				
	新たに追加した事業		基幹事業										
提案事業													
交付期間の変更		当初	平成25年度～平成28年度		変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	平成25年度～平成29年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	中津土器線の通過時間	分	7	H24	6	H29	-	5	○	あり なし	橋梁撤去による高低差の解消や線形の改善により、通過時間が短縮されたことから交通流の円滑化が確認でき、利便性の向上や災害時の対応力を強化が図れた。	
	指標2	公園・緑地に対する満足度	%	60	H24	63	H29	-	68	○	あり なし	整備の各段階において周辺自治会と設置する施設などについて意見交換を行ったり、愛着を持ってもらうために公園名を地元で決めてもらうなど、積極的に地元の意見を取り入れるよう取り組んできたことから、目標値を上回る満足度を得られた。	
	指標3	こんびら湊丸亀街道に対する満足度	%	30	H22	41	H29	-	44	○	あり なし	街道周辺における一貫性をもった継続した整備を行うことにより、歩いて楽しい魅力ある空間としての認識が浸透してきたと考えられ、前回計画の達成率の伸びを上回る満足度を得られた。	
指標4										あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		・実施せず				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		・①東汐入川埋立地への緑地整備にあたっては、事業の進捗に合わせて地元説明会を開催し、整備内容等について協議した。 ・②こんびら街道については、地域住民によるまち歩きを行い、整備計画について協議した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた ●② 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●① 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後の活用や維持管理などにおいて、地元住民の意見も伺いながら、連携・協力していきたい。		
	持続的なまちづくり体制の構築		・こんびら街道及び周辺の歴史施設を対象に、ぼんぼりの灯を用いた金毘羅街道ぼんぼりウォークのほか、民間団体の主催による食をテーマとしたイベントの開催など、通年で賑わいづくりに活用されている。				都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				現在イベント等に活用いただいている民間団体との連携を保ちながら、新たに活用する団体等の掘り起しに努めたい。		

様式2-2 地区の概要

丸亀市中心市街地地区(香川県丸亀市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:市街地周辺部の居住環境、防災環境の向上により、地域の個性ある「住みやすいまちづくり」を実現するとともに、歴史資源等を活用し、交流人口の増加を図る。 目標1:市街地中心部と周辺部の交通流を円滑化することにより、利便性の向上、災害時の対応力を強化する。 目標2:東汐入川の緑地整備により、防災環境を向上させるとともに、良好なアメニティ空間を創出し、居住環境の向上を図る。 目標3:歴史資源を活用したネットワークの構築、歴史・文化等の情報発信、歩行者空間の整備により来訪者等の回遊性の向上を図る。	中津土器線の通過時間	単位:分	7	H24	6	H29	5	H30
	公園・緑地に対する満足度	単位:%	60	H24	63	H29	68	H30
	こんびら湊一丸亀街道に対する満足度	単位:%	30	H22	41	H29	44	H30



【道路】(都)中津土器



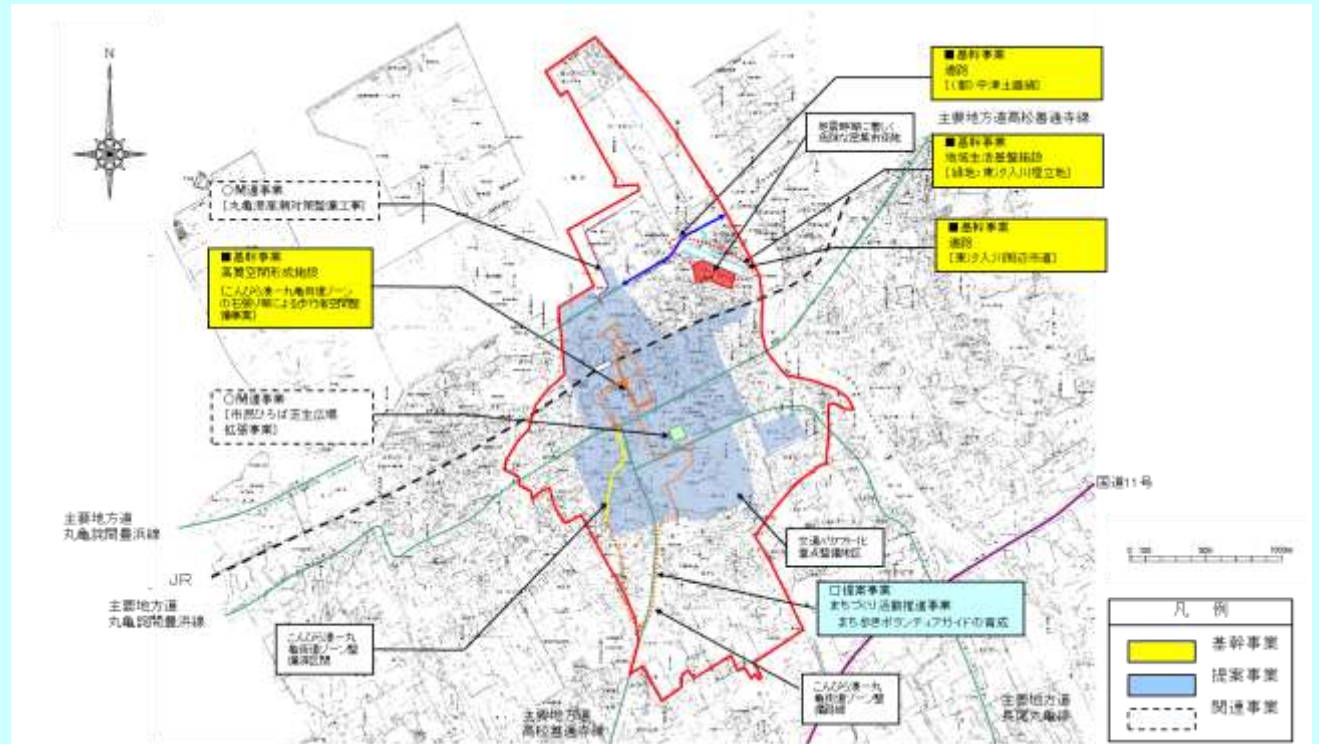
【道路】東汐入川周辺市



【地域生活基盤施設】



【高質空間形成施設】



まちの課題の変化

- ・中津土器線の平面交差化、4車線化により、中心市街地内縁辺部における通過時間が短縮された。
- ・東汐入川周辺の市道の整備により、幹線の中津土器線や隣接する密集市街地への緊急時の連絡性が高まった。
- ・防災機能を兼ね備えた東汐入川けんこう公園の整備により、居住環境、防災環境が向上した。
- ・中心部では、整備したこんびら街道の活用による来訪者や地域住民等の歩行者増加が期待される。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・整備した施設の機能などが継続して発揮できるよう適切な維持管理を行うとともに、市民の意見も伺いながら必要に応じた改善に努めたい。
- ・現在イベント等に活用いただいている民間団体との連携を保ちながら、新たに活用する団体等の掘り起しに努めたい。